

# 第22回市民との意見交換会・報告書（北会津地区）

開催地区：北会津地区	開催日時：令和元年5月10日（金） 18時30分 ～ 21時30分
担当班：第5班（出席議員）土屋 隆、成田芳雄、佐野和枝、成田眞一、丸山さよ子、吉田恵三（欠席議員）なし	
開催場所：北会津支所ピカリンホール	
参加人数：男性6名、女性0名、合計6名（うち班外議員0名）（他自治体等傍聴者0名）	
会場の雰囲気、次回に向けての反省点、申し送り事項など	
1. 議会報告、市政全般についての総括 議会報告については新庁舎の建設場所に関して駐車場に対する不安や、新庁舎建設以外にも県立病院跡地の利活用や駅前整備など大きな事業が重なることで財政に対する不安が出された。また、庁舎に出向かなくても手続きが済むよう支所機能の充実を望む意見も出された。	
2. 地区別テーマでの意見交換についての総括	
(1) 地区別テーマ 北会津における防災について	
(2) テーマ設定の理由、背景 8月25日、北会津地区で会津若松防災訓練が行われる予定となっている。また、北会津は阿賀川と宮川があり水害に対する不安があることから、この機会に防災について考えていきたいためテーマを設定した。	
(3) 主な地域課題 自主防災組織に関しては、その重要性を認識しつつも、どこまでを地域で行い市はどのようなことをするのか疑問だという意見や、避難所までの移動や、夜間でも避難所が十分機能するのか等、不安を感じる意見があった、市による出前講座を行うなど丁寧に説明し、意見交換をしていく必要があると考える。また、地域ごとに想定される災害状況は変わるため、集落ごとの防災を検討していく必要があると感じた。	

○ 議会報告(定例会、政策討論会など)、市政全般(テーマ以外)について

※分類 ●議会に関するもの ○市政に関するもの  
 ※番号 ①回答(処理)済 ②聞き置いた事項(含む情報提供) ③後日回答

市民の発言内容	議会(議員)の発言内容	分類	番号	備考	※項目 キーワード
新庁舎を今の本庁舎のところに建てると聞いているがなぜそんな狭いところに建てなのか。栄町第二庁舎が駐車場ということだが、歩いて庁舎まで行くことを考えると、なぜなのか疑問である。	議員の中では賛成も反対もいるが、賛成多数で可決となった。現庁舎に建てる必要性については、これまで、現庁舎を中心として公共交通をはじめインフラを整備してきた経緯があることから、そのことを生かして現在の場所とした。身体の不自由な方の駐車場は庁舎前に準備する予定になっている。	○	①		行政
身体の不自由な高齢者が第二庁舎の駐車場から狭い道路を渡って庁舎へ入っていく。非常に危険な状況で、ましてや天候の不順などを考えると、非常に不便な庁舎整備ではないか。	新しくできる新庁舎の前にも十数台分の駐車スペースを確保する。それで対応できると考えている。	○	①		行政
新庁舎整備の説明会をしているようだが、説明会をやりましたという実績づくりではダメである。		○	②		行政
高齢になると駐車場から歩いて庁舎に行き、手続きをするのは大変。特に冬は大変。		○	②		行政
ICTオフィスには6社入るということですが、1社がほとんど独占している状況ではないのか。その1社の為につくったのかと思う。そのところの説明をお願いしたい。	1社が占める割合は大きいですが、1社だけのためではありません。会津若松がICT関連の企業の集積を図り、雇用の確保と若者の流動を防ぐ。会津大学の卒業生の受け皿として機能するよう、新しい産業の育成という観点でも非常に有効な手段ではないかと考える。	○	①		企業誘致

○ 議会報告(定例会、政策討論会など)、市政全般(テーマ以外)について

※分類 ●議会に関するもの ○市政に関するもの  
 ※番号 ①回答(処理)済 ②聞き置いた事項(含む情報提供) ③後日回答

市民の発言内容	議会(議員)の発言内容	分類	番号	備考	※項目 キーワード
<p>県立病院跡地の利活用、ICTオフィス、新庁舎建設、会津若松駅前整備など、非常にハードな予定を組んでいるが、財政的に大丈夫なのか。</p>	<p>新庁舎を建てることは総合計画や、都市計画マスタープランで位置づけしている。その後に出てきた、県立病院跡地の利活用については、市は賑わいの場の創出ということで新庁舎建設とは別に考えている。広い土地を有効活用してさまざまな市民ニーズに応えられるよう複合的な施設を整備していこうとしている。会津若松駅前整備を加え三つとなるが、一つ一つ大事なことである。しかし、三つ重なることで、財政的に重い負担となるのではないかと懸念されることから、本年2月定例会では、財政危機に陥ることのないよう後年度負担の平準化に意を用い、各事業について財政状況を十分見極めながら進めていくべきであるとの決議を可決したところである。</p>	○	①		財政
<p>スマートフォンやインターネットサービスが普及してくると、庁舎に行かなくても手続きが済むようになるので、庁舎に行かなくても手続きが済むようなサービスを早めに提供していただきたい。支所機能も現状は少ないので、もっと充実してほしい。                      ICT企業誘致で定住者がたくさん増えるのではないかというが、ICT化が進めば進むほど在宅ワークができるようになるということは海外にいても仕事ができるということになるので、定住は加速しないと思う。</p>	<p>庁舎に行かなくてもできるサービスについては、コンビニでさまざまな証明の取得や納付をすることができる。支所機能の充実も進めている。今回のICTビルをつくったのは、会津は災害が非常に少なく地盤も安定している立地条件を生かし、東京にある本社機能を会津に移転するということが大きな目的である。</p>	○	①		まちづくり 企業誘致
<p>戊辰150周年事業の経済効果は。</p>	<p>戊辰150周年記念事業実行委員会の報告では、観光客が3万人程度増加、9月決算で審議していく。</p>	○	①		観光

○ 議会報告(定例会、政策討論会など)、市政全般(テーマ以外)について

※分類 ●議会に関するもの ○市政に関するもの  
 ※番号 ①回答(処理)済 ②聞き置いた事項(含む情報提供) ③後日回答

市民の発言内容	議会(議員)の発言内容	分類	番号	備考	※項目 キーワード
市制120周年について周知不足ではないか。	市制120周年は大きな節目ではない。大々的ではなかったが4月1日に議場で式典を行ったが、11月には記念式典を予定している。	○	②		行政
北会津中学校、認定こども園からほたるの森にわたる道路に横断歩道と押しボタン信号、交差点の鉄柱等要望している。	横断歩道はつくる予定と伺っているが、信号については引き続き要望していただきたい。	○	①		交通安全
市民との意見交換会の参加者が少ない。もっと周知してほしい。	参加者が増えるよう工夫していきたい。	○	②		意見交換会

○ 地区別テーマでの意見交換について → 北会津地区における防災について

※分類 ●議会に関するもの ○市政に関するもの  
 ※番号 ①回答(処理)済 ②聞き置いた事項(含む情報提供) ③後日回答

市民の発言内容	議会（議員）の発言内容	分類	番号	備考
	<p>市では、各地区における自主防災組織の結成に向けた取組を進めている。自主防災組織は「自分たちの地域は、自分たちで守る」という考えのもと、住民が自主的に結成する組織であり、災害による被害を予防・軽減するための活動であり、地域住民にとって重要な組織になると思われる。自主防災組織について北会津地区ではどのように考えていくのか。災害・水害に対するシュミレーションや対応策について意見交換ができればと考えている。</p> <p>北会津地区の自助、共助、公助をどう充実していくのか。本日は北会津地区における防災について、ご意見をお聞かせください。</p>			
<p>今年8月25日に北会津中学校で防災訓練がある。防災マップも新しくなった。北会津は阿賀川・宮川があり水害に関する心配が一番大きい。これまで大きな災害はなかったが、昨年水害があった岡山の事例もある。会津は大丈夫という意識があるので、危機管理のなさが問題ではないかと思い、今一度防災について考えようという主旨でこのテーマとした。</p> <p>慶山では自主防災組織があるが、市全体の組織の数が少ないのではないか。</p>	<p>慶山地区では、山津波に関する危機意識が高まり組織がつけられた。日新地区でも本町安心、安全まちづくり協議会という組織がつけられ、地区の危険個所や一時的に避難できる場所などの防災マップを作るなどの活動をしている。</p>	○	②	

○ 地区別テーマでの意見交換について → 北会津地区における防災について

※分類 ●議会に関するもの ○市政に関するもの  
 ※番号 ①回答(処理)済 ②聞き置いた事項(含む情報提供) ③後日回答

市民の発言内容	議会（議員）の発言内容	分類	番号	備考
東日本大震災の時、郡山市の学校施設を使い、避難してきた方の支援を行ったが、市・県の災害対策本部と連携がうまくいかず、NPOを頼り、教員が支援をした。 北会津の避難所は各学校である。会津で災害がおきた時、行政は何ができるのか。誰がしめるのか。		○	②	
避難所の一番は学校だが、そこにどうやっていくのか。岡山では、夜だったため学校に避難してもカギが閉まっていたり、駐車場が満杯になったという事例もある。北会津は平地や・高台がない。その中での避難経路をどうするか、一時避難、二次避難等、各集落で検証をしていかなければならない。議会もどのように関わっていくのか。		○	②	
体の不自由な方の対応についても、避難行動要支援者名簿に登録することが嫌だと思える人もいます。いろんな機会を通じて意識を高めていただきたい。		○	②	
避難所に来た方は着の身着のままの人もある。本当に困った人をどう助けられるのか誰も知らない。地域住民の安心をつくっていくことが必要だが、地域だけでできるのか。市はどこまでできるのか問題。	災害があった時、初期の段階で、自助・共助をどう行っていくかが大事。市議会としても災害時業務継続計画（BCP）を策定中である。	○	①	

○ 地区別テーマでの意見交換について → 北会津地区における防災について

※分類 ●議会に関するもの ○市政に関するもの  
 ※番号 ①回答(処理)済 ②聞き置いた事項(含む情報提供) ③後日回答

市民の発言内容	議会（議員）の発言内容	分類	番号	備考
8月25日の防災訓練は行政で行うもので、地域住民はほとんど身に入らない。地域住民が率先して行わなければ本当の防災訓練にはならない。住民の盛り上げをどうしたらよいか。	市には、会津若松市防災計画がある。市民は水・食料を3日分備蓄となっている。日頃の備え災害に対する意識を常に持つことが大事ではないか。	○	①	
災害が起きた場合のことばかりではなく災害を未然に防ぐことが大事。農業をやっていて、用水路・排水路の管理が不十分なところがある。高速道路の下（北会津町和泉原山の会津坂下町との境界付近にある磐越自動車道下）の水路に土砂が溜まっているが、土地改良区から委託を受け、地域の人が土砂上げをしている。しかし高齢化もあり負担となっている。	現地確認し後日回答する。	○	③	現地確認し、後日報告する。 （事後処理報告書P9に記載）
北会津町鷲林の北側にあるタテ川の用水路の水草の除草ができていない。水害予防のため用水路・排水路の整備をすべき。	現地確認し後日回答する。	○	③	現地確認し、後日報告する。 （事後処理報告書P10に記載）
大川の木々の伐採をすべき。	阿賀川河川事務所によれば下流より伐採を行う予定とのことである。	○	①	
東京都内の町内会では、全町内会に自主防災組織がある。消防団の詰所のわきに、小型ポンプやリヤカー、水タンクなどが置いてあり、年2回防災訓練をし、うち1回は初期防火訓練をする。昭和50年くらいから始まったようで、災害組織のはじまりは地区の役員しか来なかったが、だんだんと住民が参加するようになっていった。		○	②	

○ 地区別テーマでの意見交換について → 北会津地区における防災について

※分類 ●議会に関するもの ○市政に関するもの  
 ※番号 ①回答(処理)済 ②聞き置いた事項(含む情報提供) ③後日回答

市民の発言内容	議会（議員）の発言内容	分類	番号	備考
市は何をしてしてくれるのか、具体的周知をしてほしい。		○	②	

## 市民との意見交換会・事後処理報告書

## 北会津地区

件名	処理（対応）内容	備考
<p>1. 水路の泥溜について (P 7)</p>	<p><b>【市民からの要望・質問】</b>                      高速道路の下（北会津町和泉原山の会津坂下町との境界付近にある磐越自動車道下）の水路に土砂が溜まっているが、土地改良区から委託を受け、地域の人が土砂上げをしているが、高齢化もあり負担となっている。</p> <p><b>【事後処理結果】</b>                      5月13日 北会津町和泉原山の会津坂下町との境界付近にある磐越自動車道下の現地調査を行いました。水路の泥溜めのマスは大きく深いもので、高齢による負担感は理解できるものでした。また、水路ののり面に草が生い茂っている状況が確認されました。後日大川土地改良区に伺ったところ、高速道路下の水路の泥溜めは、集中豪雨時の災害を防ぐためにも今後も土砂上げ等の管理は継続して地区にお願いしたいとのことでした。                      また、後日、大川土地改良区から、意見を出された方に説明がありました。</p>	

## 市民との意見交換会・事後処理報告書

## 北会津地区

件名	処理（対応）内容	備考
<p>2. タテ川の水路の除草について (P 7)</p>	<p><b>【市民からの要望・質問】</b> 北会津町鷲林の北側にあるタテ川の用水路の水草の除草ができていない。</p> <p><b>【事後処理結果】</b> 5月13日現地調査を行いました。まだ時期的に水草が生い茂っている状況ではありませんでした。後日、大川土地改良区に問い合わせたところ、2年前までは地区に委託し、川の管理をしていただいていたが、地区から高齢化のため川の管理ができないとのことから、現在は事業者川に川の管理を委託し、毎年順番に川の整備をしているとのことでした。 その後、大川土地改良区から、意見を出された方に説明がありました。</p>	